様式第27号

管理運営評価シート（令和７年度）

施設名称	デイサービスセンター「きわなみ荘」・「新きわなみ荘」	評価対象年度	令和　7　年度
指定管理者名	社会福祉法人　村上市社会福祉協議会	所管課	介護高齢　　課
指定期間	令和４年４月１日～令和９年３月31日（５年間）	評価者（課長）	土田　　孝

１　令和７年度の実績

（１）事業実績

利用実績	・きわなみ荘　定員28人／日、311日開所。延べ利用人数 6,097人（前年度比591人減） ・新きわなみ荘　定員30人／日、311日開所。延べ利用人数7,259人（前年度比756人増）
サービス向上の取組	①時間延長及び希望する送迎時間に対応した。②タオル類の貸出を行い、利用者の準備負担を軽減した。③転倒予防体操や嚥下体操、口腔ケア、リハプラン（リハビリソフト）を用いた個別機能訓練の充実を図った。④研修の参加や計画を行って技術や知識の向上に努めた。

（２）管理経費

（単位：千円）

区分		前々年度（R5年度）	前年度（R6年度）	当該年度（R7年度）	合計	備考
収入	指定管理料	1,106	1,659	10,451	13,216	基本協定額：　14,758　千円
	利用料金	8,013	7,904	7,973	23,890	利用者食費
	事業収入	108,167	107,534	103,018	318,719	介護報酬等
	自主事業収入	0	0	0	0	
	その他	59	36	426	521	自動販売機収入
	収入合計　①	117,345	117,133	121,868	356,346	
支出	人件費	93,904	89,107	95,402	278,413	職員・臨時職員給料等
	福利厚生費	292	344	288	924	健康管理費等
	事務費	314	362	401	1,077	事務諸経費
	管理費	16,658	18,482	16,367	51,507	
	水道光熱費	9,752	10,884	9,393	30,029	電気料、上下水道料等
	修繕料	514	1,066	207	1,787	施設修繕
	使用料・リース料	3,835	3,925	4,142	11,902	機器リース料等
	手数料・保険料	673	704	705	2,082	賠償責任保険料等
	委託料	1,884	1,903	1,920	5,707	施設警備、清掃委託等
	事業費	9,657	9,546	9,660	28,863	介護消耗品等
	自主事業経費	0	0	0	0	
	その他	1,236	1,695	1,642	4,573	リース債務返済
	支出合計　②	122,061	119,536	123,760	365,357	
収支差額（①－②）		▲ 4,716	▲ 2,403	▲ 1,892	▲ 9,011	

2 共通評価項目

（記入者）自己評価…指定管理者　所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考（所管評価） （◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入）
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。（書類の保管、社員への周知等）	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	○	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	○	

◎：協定等の内容を超える水準で業務を履行している　○：協定等の内容どおり業務を履行しており適正
△：協定等の内容に対し、一部不履行がある　×：協定等の内容に不履行があり改善の必要がある　－：該当なし

3　業務実施上の課題（指定管理者が記入）

（1）指定管理業務実施上の課題

きわなみ荘は、利用人数が落ちましたが、新きわなみ荘の利用者が増えたため、2施設合計では、大きな人数減少にはならなかった。
利用者数の極端な増減はないものの介護度の高い利用者が少なく、平均介護度は、きわなみ荘では1.5、新きわなみ荘では1.6となった。算定要件を満たさない加算もあり、なかなか収入増に結びつかない。
また、職員不足もあり、特に看護師がいないため、何とかパート看護師で補っている状態です。

（2）課題解決に向けた取組

利用者へのお便りや、ケアマネジャーに空き情報を配布し、施設の様子等のアピールを行った。
施設の開放日を設け、利用者と家族や地域の方に、きわなみ荘・新きわなみ荘を知ってもらう機会を設けた。
人件費や光熱費、消耗品の節約に努めた。人件費は、他社協施設やきわなみ荘・新きわなみ荘内で連携し兼務の職員を配置し、過剰人員にならないよう職員配置を行った。
機能訓練を目的としたシステムを活用し、個別機能訓練の充実を図った。
送迎の範囲を広げ、利用者の増加を図った。

（3）その他

①利用者からの主な意見や苦情、対応策

令和5度から課題の出張理美容サービスは、神林地域の理容店への依頼が継続できており、スムーズに利用者の希望に沿えている。
苦情までにならない意見は、相談記録に記載し検討会議を行い改善した。
無記名のアンケートを行った。無記名のため、要望等にはお便りで対応を周知した。

②その他

4　全体的な評価

（1）指定管理者の評価

2施設合計では、大きな人数減少にはならなかった。荒川地域や村上地域の利用者も、積極的に受け入れ、個別機能訓練の充実も図っている。また、経費削減のために、兼務の職員を増やし人員を調節したり、節約を心がけた。
デイサービス開放日を設け、利用者や家族、地域の方に施設の運営や内容への理解を深めてもらえるよう努めた。家族介護者教室も開催し、看護師、栄養士による講座や家族の相談を聞いたり、デイサービスでのおやつを試食していただいた。どちらも好評でした。
お便りで利用者、家族に利用時の様子をお知らせしたり、ケアマネジャーへのアピールを積極的に行った。
これからも、利用者の心身状態の維持と家族の介護負担の軽減を心がけ、利用者と家族に寄り添ったサービスを行っていきたい。

（2）施設所管課の評価

・荒川地域や村上地域の利用者も積極的に受け入れ、2施設合計で大きな人数減少を防ぐとともに、ケアマネ等への積極的なアピールに努めている。
・各種体操やシステムを用いた個別機能訓練、デイ開放日や好評であった家族介護者教室の開催など、利用者や家族の理解促進と寄り添ったサービス提供を評価する。
・経費削減に向けて兼務職員の配置による人員調節や節約を心がけているが、平均介護度の低さや加算未算定による減収、看護師を中心とした職員不足が今後の課題である。

（3）次年度の管理運営に対する指導事項等（施設所管課）

・今後も周辺地域からの積極的な受け入れとケアマネ等との連携を継続し、2施設間の強みを活かした新規利用者獲得と安定した施設運営に努めていただきたい。
・看護師をはじめとする必要な人員の計画的な確保に努めるとともに、兼務配置による効率的な人員調節を継続し、適切な収支管理の維持を図ること。
・利用者の心身状態の維持と家族の介護負担軽減を目指し、算定可能な加算の取得に向けた体制整備と、質の高いサービス提供の継続に努めていただきたい。